

2021 年 11月 4日

関係者各位

大 東 文 化 大 学
社会学部長 植野 一芳
(公 印 省 略)

英語科目非常勤講師の公募

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、社会学部では下記の要領により非常勤講師を学内公募することとなりました。つきましては、ご応募方よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

記

1. 所 属 : 社会学部社会学科
2. 採用人数: 1 名 (非常勤講師)
3. 採用予定日: 2022年4月1日
4. 担当科目: 「時事英語1」, 「時事英語3」, * 「英語 A」 以上前期開講
「時事英語2」, 「英語で読む現代社会」, * 「英語 B」 以上後期開講
(各半期1単位1コマ。*印のコマはスポーツ科学科の授業。)
5. 担当曜日: 原則として金曜日
6. 勤 務 地 : 本学 東松山校舎(埼玉県)
7. 応募締切: 2021 年 12 月 9 日 必着
8. 提出書類: 1) 履歴書 (写真貼付捺印、E-mailアドレス記載のこと) *書式は自由
2) 研究業績一覧
3) 主要業績 (1点) (コピー可)
9. 提出先: 上記の提出書類を1つのPDFファイルにまとめてください。
JREC-IN Portalの電子応募にて受け付けます (郵送等では受け付けません)。
ただし、PDF化できない書籍等の業績は下記に郵送のこと。
〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 大東文化大学 社会学部事務室 宛
10. 問い合わせ先: TEL 03-5399-7356
11. 選考内容: 書類審査後、オンライン面接を実施します。
詳細については対象者にメールで通知します。
12. 採否の結果は、決定しだい本人宛に通知します。電話でのお問い合わせには応じられません。
採用後の待遇は、本学の規定によります。

13. 授業概要：

社会学科	
時事英語 1	日本国内と世界の時事問題や社会的事象を題材にして、社会的な視野を広げながら、英語のスキルを養成する。リーディング能力の向上と、英語における論理構成の習得、さらにアウトプットの鍛錬を目標とする科目である。具体的にはアウトプットに備えて、英語でジャーナリスティックな素材の内容把握をし、語彙・文法・論理構成を習得するインプットの鍛錬を徹底して行う。学生は、英文による時事問題を読み解くスキルを磨くことを求められる。
時事英語 2	日本国内と世界の時事問題や社会的事象を題材にして、社会的な視野を広げながら、英語のスキルを養成する。リーディング能力の向上と、英語における論理構成の習得、さらにアウトプットの鍛錬を目標とする科目である。具体的には英語でジャーナリスティックな素材の内容把握をし、語彙・文法・論理構成を習得したうえで、学生に問題発見を促す。学生は、グループおよび個人で問題を発見し、それを検討して交代でプレゼンテーションを行うというアクティブ・ラーニングを行う。
時事英語 3	日本国内と世界の時事問題や社会的事象を題材にして、社会的な視野を広げながら、英語のスキルを養成する。リーディング能力の向上と、英語における論理構成の習得、さらにアウトプットの鍛錬を目標とする科目である。具体的には英語でジャーナリスティックな素材の内容把握をし、語彙・文法・論理構成を習得したうえで、学生に問題発見を促す。学生は、グループおよび個人で発見した問題の検討結果を論理的に整理して交代でプレゼンテーションとフィードバックを行い、それを踏まえて最終成果を全体で作りに上げるというアクティブ・ラーニングを行う。
英語で読む現代社会	「時事英語」で培った力をもとに、新聞や雑誌の記事やエッセーなど現代社会に関する文献を読み取るだけでなく、自分自身で文献を探索する力も養う。「時事英語」に引き続き、論理構成と内容を把握し、さらに自ら素材を分析したうえで問題発見に向かう読み方をする。前半は教員から与えられた素材の読み解き方を学び、後半は学生自身で関心がある記事やエッセーを探し、その問題についてさらに調査・検討を深めたうえで、個人研究結果としてエッセーを提出し、その概要を授業内で発表する。
スポーツ科学科	
英語A & B	高校までに習得した英語の知識を確認し、さらに向上させることを目的とする授業です。具体的な授業の内容は、各教員の裁量で決めています。（ちなみに、021年度は、新型コロナウイルスに関する英文記事を講読する授業、総合英語の教科書を使用した授業、TOEICの対策教材を利用しながら英語力の向上を図る授業、ライティングの練習を通して英語の基礎知識を確認する授業、などがあります。）授業開始の前にプレースメントテストを実施し、そのスコアに基づきクラス分けを行っています。

以上